



青少年を育てる

小美玉市民の会



玉里学園義務教育学校 1年生～9年生まで仲良く過ごす昼休み

今こそ大事 家庭教育



青少年を育てる

小美玉市民の会

会長 篠根 捷應

盆を過ぎて夏休みも終わる頃になると風も秋めいて、雲の色やセミの声にも物の哀れを感じるような今、自然界は急変し酷暑、豪雨、豪雪が常態化しています。加えて新型コロナウイルス感染症の蔓延という恐怖をかかえて生活している世の中です。毎朝のラジオ体操で「深く息を吸って」という号令にちよっと戸惑う心境です。

社会生活全般に閉塞状態を強いられている現状は心身共に伸び盛りの青少年にとつて、大きな弊害をもたらします。この社会情勢が一刻も早く終息して健全な環境を取り戻さなければ友達との関わりによって育まれる豊かな心や、活動することによって鍛えられる健康な身体も蝕まれることとなります。

ともあれ、いつの時代も子どもは親の背を見て育つことに変わりはありません。こういう時代だからこそ親が、大人が子ども達に目を向け関心をもって家庭のあり方や家族とのふれ合いをしっかりと見直して、まずわが子の健全な成長に心を配っていただきたいと思

います。青少年を育てる小美玉市民の会の事業運営にも多大な支障を及ぼしており困惑至極ですが、市民の皆様には日頃から子ども達の安全確保のため、登下校時の見守り活動、あいさつ声かけ運動、通学路の点検等々、私達の未来を担う青少年の逞しい成長のためにご協力をいただいております。

お預かりする貴重な会費の有効活用をして、更なる有意義な事業活動を展開しながら、健全育成の一助になるよう努力する所存です。市民の皆様のご健勝をご祈念し、今後共同一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

あなたの美しい心は みんなの模範となります

善行青少年表彰



玉里学園義務教育学校 9年生

- ・亀井 勇希(かめい ゆうき)さん
- ・竹田 蒼空(たけだ そら)さん
- ・岡部 仁紀(おかべ よしのり)さん
- ・小田切 勇樹(おだぎり ゆうき)さん
- ・長谷川 佳彦(はせがわ よしひこ)さん
- ・福田 大空(ふくだ そら)さん

青少年を育てる小美玉市民の会では、市内の小・中学校、義務教育学校、高校からの推薦を受け、人助けや思いやりをもった行動・親切・環境の美化活動等、小さな活動や継続的に物事に取り組んで

いるなど、賞賛に値する良い行いに対して表彰を行っております。令和2年度は、玉里学園義務教育学校より推薦されました、同校9年生の6名の皆さんに賞状と記念品を贈りました。

善行内容

● 下校途中に民家で火災が発生していることを発見。通りがかった車の運転手に119番を依頼。その後、近所の家を訪ねて回り、避難を呼びかけた。

火災現場を発見した6名の皆さんにインタビューをしました。現場を発見した時には、「初めて大きい火事を見たので怖かった」と竹田さん。しかし仲間6名で「119番をしなきゃ!」「周囲に火事を知らせよう」と、誰とはなしに、各々がとっさの行動にでていたそうです。今回の表彰を受け、「火事が広がらなくて良かった」「中々このような行動ができる人は少ないと思う。みんなのお手本になれるよう、これから行動していきたい」「表彰を受け、家族やみんなに自慢できることが増えてうれしい」等、自分を誇りに思っていると少し照れくさそうに答えてくれました。

香取総務部会長は、「このような行動に出られたことは素晴らしい。これからも勇気と知恵をもってみんなの模範となってください」と激励の言葉を送りました。これからの皆さんの、益々の成長とご活躍を期待しています。

〈本会 事務局〉

少年の主張作文

少年の主張作文は毎年茨城県青少年育成協会が県内の中学生を対象に募集しているもので、毎年県内の多くの中学生が、社会や世界に向けての意見や未来への希望、家庭や学校生活・地域活動及び友達や身の回りの事などを作文にして応募しています。

令和2年度に応募してくれた市内の中学生代表として、3名のみなさんをご紹介します。

『私は私のままで』



美野里中学校3年生
川根麻依子さん

『未来』



美野里中学校3年生
君羅友那さん

『差別について』



小川南中学校3年生
富山春香さん

寄稿



玉里学園義務教育学校

校長 吉永 成範



子供たちは、他者との交流、つながりにより成長することができると考えています。

小中一貫校の玉里学園義務教育学校が開校し、交流を意識した学校運営を行っています。

まず、小学生と中学生が一緒に遊ぶ縦割り班活動を設定しています。遊びを通して、幅広い人間関係を作っています。最近、縦割り班活動がない昼休みでも、小学生と遊ぶ中学生が増えました。中学生には、年下の者をいたわり、思いやる心が育つていくと考えます。また、小学生は中学生の行動をお手本とすることができます。今後、学習や学校行事面でも小中交流を進めていきたいと思えます。

次に、「玉里学」という郷土学習を全学年で実施し、地域の方と

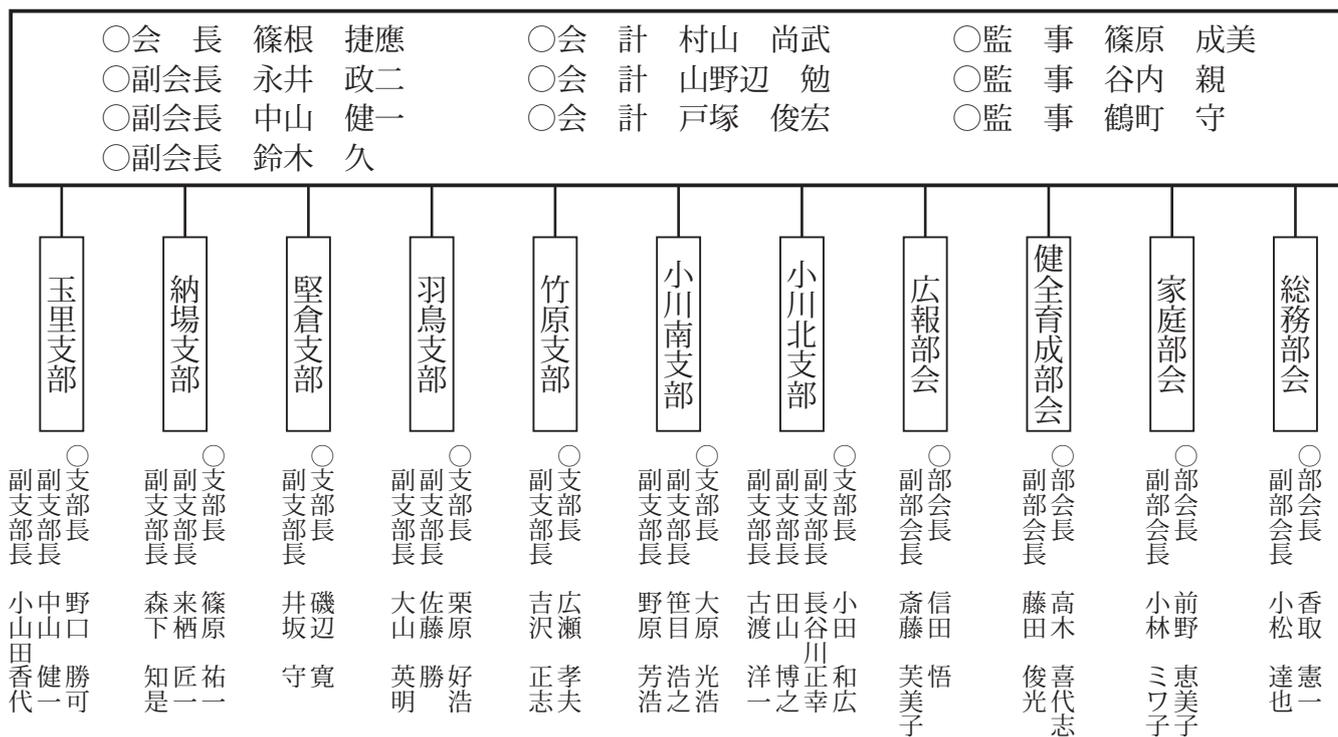


の交流を積極的に進めています。地域には、環境・福祉・歴史等、専門の方が多くおられます。「玉里学」の学習の中で、その方々からお話を聞いたり、一緒に活動したりする機会を設け、地域の方とのつながりを大切にしていきます。ふるさとの素晴らしさや郷土愛とともに、人としての生き方を学ぶことができると思えます。

現在、新型コロナウイルスの影響で、一部交流を制限しております。しかし、子供たちの健全育成には交流活動は不可欠であり、終息後には、地域の多くの方に学校へ来ていただきたいと考えております。



令和3年度 青少年を育てる小美玉市民の会 組織図



令和2年度 青少年を育てる小美玉市民の会 収支決算報告書

収入額 2,970,534 円 支出額 2,672,756 円 差引残高 297,778 円

※残金は次年度に繰り越します

本会は、次代を担う青少年の健全な育成を図ることを目的に市民総ぐるみの運動として関係団体と連携しながら、各種事業を展開しております。

これらの運動は、市民の皆様はじめ、本会の趣旨に賛同していただいている賛助会員の皆様の支援により成り立っております。厚くお礼申し上げます。行政区长並びに住宅管理者の皆様におかれましては特段のご尽力をいただき、併せてお礼申し上げます。



収入の部

項目	決算額(円)	内容
会費	1,722,400	1世帯200円×8,562戸、賛助会員10口
補助金	890,000	小美玉市より
繰越金	358,129	令和元年度繰越金
諸収入	5	預金利子
計	2,970,534	

支出の部

項目	決算額(円)	内容
会議費	8,530	役員会費等
事務費	59,654	郵送料、振込手数料
総務部会費	571,285	立志記念品・善行青少年表彰、健全育成標語立看板修正等
家庭部会費	0	コロナウイルス感染症感染拡大により事業中止
健全育成部会費	266,310	令和元年度子ども議会記録誌印刷代
広報部会費	414,568	市民の会広報紙印刷代(2回分)
支部活動費	1,347,009	小川北支部 155,600 円 小川南支部 250,000 円 竹原支部 141,409 円 羽鳥支部 150,000 円 堅倉支部 200,000 円 納場支部 250,000 円 玉里支部 200,000 円
負担金	5,400	水戸地区青少年育成市町民会議負担金
計	2,672,756	

コロナ禍で、各行事が中止となり、活動報告が殆ど無く紙面構成が困難な中で、豊富な情報網を持つ役員のおかげで、広報誌としての役割が保てています。

また、当広報紙のために、快く記事を提供してくださる方に感謝申し上げます。

編集後記



あいさつ・声かけ運動

あいさつには「あい」がある「おはよう」から始めよう。あいさつは、人と人をつなぐ魔法の言葉。誰でも使えるステキな言葉。

みんなが使えば街はきっと明るくなる。

まずは、あなたから使ってみませんか？ほらっ、あんがいカンタン。けっこうウレシイ。

青少年を育てる小美玉市民の会 広報紙<第26号>

発行日	令和3年10月1日
発行	青少年を育てる小美玉市民の会
発行責任者	会長 篠根 捷應
連絡先	小美玉市文化スポーツ振興部 生涯学習課
	電話 0299-48-1111
	FAX 0299-48-1199

広報部会 相島 清

この紙面が皆様に届く頃、感染が収まることを祈って！

話題は変わりますが、賛否が二分したオリンピック・パラリンピック。コロナ禍の開催はどのよう評価されるかわかりませんが、歴史に残る事例になるでしょう。

オリンピック開催中から新型コロナウイルス感染症患者は増え続け、8月18日現在全国では40都道府県でステージ4の爆発的感染拡大の状態でした。本県は独自の非常事態宣言を発令しましたが、感染力の強いインド由来のデルタ株が主力となり、感染拡大が収まる気配はまったく見えず、特にワクチンの無い12歳以下の若年層で増加していることが非常に危惧されます。